

# The Public Private Partnerships (PPP) Certification Guide

## 序文

世界各国の政府は、貧困の削減に寄与するとともに、インフラと基本的な公共サービス需要に応えるために、官民パートナーシップ (PPP) が重要な選択肢となりうることを理解している。建設とサービス提供を束ねることによって、PPP はアカウンタビリティの向上、革新性の向上、長期的な効率化の可能性を提供する。しかしながら、PPP によって期待されている便益を得るためには、公共セクターの職員や管理職が、PPP 案件を形成し、評価し、調達するために必要な技術と能力、そして、一旦事業が開始すれば、契約と法的要求事項を管理するための技術と能力を開発した上で、その技能を維持し続ける必要がある。

国際開発金融機関(MDBs)やその他の機関は、この必要性を長い間認識してきた。だからこそ、数年前に、私たちは世界中の PPP 実務家の間でその専門性をどのように強化していくのかについて考え始めた。私たちは自ら作成した認証プログラムによって、すべての PPP の質を高め、新興市場と発展途上国を変える方法について検討した。特に、私たちの目的には、組織のアプローチを標準化し、さまざまなテーマを均等にカバーし、持続可能な実施体制を確保することを含めた。

私たちのビジョンは、PPP において私たちが追い求める発展の基礎となるものである **Certified PPP Professional (CP<sup>3</sup>P)** 資格と **APMG PPP 資格認定ガイド**によって実現されている。数ある目標のなかでも、この新しい取り組みは、PPP プロジェクトチームメンバーに求められる技能のコアセットが何であるかを定義し、共通の理解と適度な期待を可能にする PPP プロセスに必要な共通言語を提供するものである。これは、異なるセクターや地域を跨いで、将来を見据えた効果的な PPP を創出し、実行するための最初の最も重要なステップである。

PPP プロジェクトのすべての段階に関わる専門家（これには、公務員、アドバイザー、財務および法律の専門家を含む）は、**CP<sup>3</sup>P** 資格の取得に向けて努力することにより大きな便益を得ることが出来るようになる。資格を所持している個人は、PPP の事業遂行に熟練していることを証明できる。そのため、これらの専門家を採用している組織は、PPP の担当者の技術的能力を示すことで、市場における信頼性を高めることができるようになる。

**APMG PPP 資格認定ガイド**は、**CP<sup>3</sup>P** 資格認定試験の学習者が準備するうえで必要かつ最も信頼できる新たな教材であり、また、業務内容を網羅的にカバーしたマニュアルであり、その適用範囲には細心の注意が払われており、そして詳細に至るまでゆるぎないものとなっている。また、これは他の PPP の資料とは異なった位置づけを持つ。なぜなら、アジア開発銀行 (ADB)、欧州復興開発銀行 (EBRD)、米州開発銀行 (IDB) の多国間投資基金

## The Public Private Partnerships (PPP) Certification Guide

(MIF)、イスラム開発銀行 (IsDB)、世界銀行グループ (WBG) が著者のコアチームと 80 人の査読者を独自に選定し、そのメンバーがそれぞれのセクションを執筆、査読しているからである。これらの執筆者と査読者は、民間セクターと公共セクターにおいて、さまざまな産業分野や多くの国での経験を持つ現役の PPP の専門家である。彼ら／彼女らの PPP 資格認定ガイドに対しての広範かつ奥深い貢献によって、読者は、これまで一度も公開されたことのないさまざまな資料、事例研究、および他の情報へアクセスできるようになった。

APMG PPP 資格認証プログラムは APMG によって開発されたものであり、CP3P 資格情報と APMG PPP 資格認証ガイドを含んでいる。これは、ADB、EBRD、IDB、IsDB、MIF、WBG によるイノベーションである。そして、Public Private Infrastructure Advisory Facility (PPIAF) (訳者注：世界銀行の関連組織) が本事業に対して財政的支援を提供している。

多くの個人の揺るぎない努力によってこのプログラムは利用可能なものとなった。特に世銀グループの Jyoti Bisbey (Elena Timusheva が支援) がこの取組を率先してくれたことに感謝したい。運営委員会メンバーの Trevor Lewis (ADB)、Mathew Jordan-Tank (EBRD)、Jean-Alexandre Blanchard (EBRD)、Dennis Blumenfeld (IDB の MIF)、Fida Rana (IsDB)、Angelo Dell'Atti (WBG/IFC) 及び Clive Harris (WBG) は、この新たな構想に求められているものが何であるのかを理解したうえで、それぞれの組織の観点を踏まえて、適切なガイダンスを適切なタイミングで提供してくれた。

APMG PPP 資格認証プログラムを支援するために、私たちの組織が連携して時間と専門人材を投入し、財政的支援を行っていた間、私たちは新興市場と発展途上経済が PPP を通じて潜在的な可能性を達成するために、もはやこれ以上の時間的な余裕は残っていないことを確信しつつ、これらの作業を続けていた。私たちは、より効果的で幅広く持続可能な PPP が世界にもたらされる時代に至るために重要なステップであることを信じて、PPP の教育と訓練へのこのアプローチを支援するものである。

加賀隆一 ADB

デイビッド・ブルームガーデン、MIF of IDB

トーマスマイヤー、EBRD

フランソワ・ベルジェ、PPIAF

Dr.ワリッド・アブデルワハブ、IsDB

ローレンス・カーター、WBG